

詳細をこのメルマガに記載しておりますのでご参照ください。

さて、先日2月27日28日3月1日と、東京ビッグサイトにてFC・EXPO2019が開催されまして、山梨県ブースにて展示を行ってまいりました。

昨年度よりブース来場者が多かったような感触を持っておりまして、大変盛況でした。

ブースでは、山梨大学の取り組みとして主には、人材養成講座の紹介、一部の研究紹介、地域イノベーションエコシステムでの連携等紹介、などを中心に展示いたしました。

とくに地域企業・自治体等との連携内容について、他県自治体関係・支援団体等からの質問も多くありました。

クラブ会員の皆様にも参加された方もおありですが、これから燃料電池関連には関心があるという方は、ぜひ事務局までご連絡ください。

装置メーカーでなくサービスとして検討したいという方に於かれましても、情報収集の基として、またサプライチェーンへの参加など、東京オリンピック後の商品化を目指して一緒に活動してみませんか。

では、今後ともよろしく申し上げます。

インフォメーション 目次

- 01： トピックス (3件)
- 02： セミナー情報 (3件)
- 03： 助成事業および公募情報 (3件)



- 01 トピックス (3件)
-

○「山梨大学客員社会連携コーディネータ研修」を開催

2019年2月15日(金) 甲府キャンパスにおいて、山梨大学客員社会連携

コーディネータ研修を開催いたしました。

本学では、包括的連携協定を結んでいる自治体や金融機関等の職員にコーディネータを委嘱しています。

この制度は、こーでいねいたが取引先企業からニーズを引き出し、本学の研究成果とマッチングさせることで共同研究などを成立させるとともに、社会と連携活動の推進に携わる人材の育成を図ることで、さらなる地域の活性化に貢献することを目的としています。

本学の社会連携活動として、いくつかのテーマでの研修や活動事例、また2018年度に顕著な業績を上げた客員コーディネータによる活動発表が行われました。

研修後には委嘱式及び表彰式を挙行し、2019年度のコーディネータを13機関298名に委嘱するとともに、活動発表者を含む客員コーディネータ3名を表彰いたしました。

○「2019年度燃料電池関連製品開発人材養成講座」の申込み開始

燃料電池関連産業分野への参入にあたっては、燃料電池関連業界の動向を踏まえ、市場性や採算性など、事業化可能性について判断し、具体的な設計、製品開発、性能評価等を行うための高度で専門的な知識を有する人材の育成が不可欠であると考えられます。

そこで、平成28年度より、本学と山梨県では、県内産業界の社会人技術者等を対象に、燃料電池関連製品の設計開発に必要な知識を習得する機会を提供し、燃料電池関連産業分野への参入に取り組みやすい環境を整備するため、「燃料電池関連製品開発人材養成講座」を開設しています。

2019年度も、4月から翌年2月まで、毎週木曜日18:00-21:00 80コマ(120時間)で開設いたします。山梨大学の教員だけでなく、水素・燃料電池関連企業の第一線の技術者を講師に招聘、実習や施設見学もある充実した内容にしています。

詳しくは下記URLよりご覧ください。

<http://www.pref.yamanashi.jp/shinjigyo/2018fc-kouza.html>

○「2019年度医療機器設計開発人材養成講座」の申込み開始

医療機器産業は、今後、安定的な成長が見込まれる成長分野の一つであり、高度な加工技術が求められるため、その技術を有している企業が集積している本県にとっても魅力的な産業分野となっています。しかし、この分野へ参入するためには、これまでの知識や技能、経験に加え、薬事法などの各種法規制や、医療機器特有の知識を習得することが必要であり、さらに、医師をはじめとするメディカル・スタッフとのコミュニケーション能力も不可欠となります。

本学と山梨県では、医療分野への県内企業の参入促進を目的に、本学が持つノウハウを活用して、医療機器分野における設計開発技術者を養成する講座を開講しています。2019年度も募集が開始されました。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<http://cacr.yamanashi.ac.jp/course.html>



■02 セミナー情報 (3件)

○建設業における働き方改革セミナー

労働人口の減少などにより、建設業界においては慢性的な人手不足の状況が続いており、特に地方の企業では採用もままならない状態となっています。このような中、本年4月より働き方関連法が施行されることとなり、これへの対応も必要となっています。

本セミナーでは、関連法のポイントや建設業で取り組む際の考え方を説明するとともに、実施実例の紹介も行います。

※建設業以外の方でも、ご興味のある方はご聴講ください。

日時 平成31年3月15日(水) 18:30~15:00

会場 甲府商工会議所2階

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<http://www.kofucci.or.jp/seminar/20190315-1/>

○新人社員研修【2日間コース】

現場で即実践できるマナーの基本から対人能力等について、演習を取り入れながら2日間でしっかり身に付けていただきます。
貴社の新人社員教育の一環としてぜひご利用ください。

日時 平成31年3月18日(月)～19日(火)

会場 甲府市商工会議所5Fホール

詳しくは下記URLよりご覧ください。

<http://www.kofucci.or.jp/seminar/20190318/>

○(3/12 東京)～事例で学ぶ下請法～下請取引適正化セミナー【実務者コース】

適正な取引を行うためには、親事業者と下請事業者の双方が、取引の根幹をなす「下請代金支払遅延等防止法(下請法)」を理解しておくことが重要です。

法令に違反すると行政指導(改善勧告)を受けることになり、企業の信頼が大きく損なわれます。

中小事業者の支援機関である(公財)全国中小企業振興機関協会では、企業経営におけるコンプライアンスの徹底が強く求められる中、下請法の内容について事例やQ&Aを交えて分かりやすく解説するセミナーを開催いたします。

日時 平成31年3月12日(火) 13:00～16:00

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

詳しくは下記URLよりご覧ください。

<https://www.yiso.or.jp/topics/576.html>



■03 助成事業および公募情報 (3件)

○【NEDO】「IoT 社会のための超微量センシング技術開発/研究開発項目
(1) 超微量センシング技術開発」に係る公募について

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

https://www.nedo.go.jp/koubo/EF2_100134.html

○【山梨県】やまなしトライアル発注精度等認定制度のご案内

本制度は新商品の市場への普及拡大（販路開拓）を支援するため、県内に主たる事務所を有する中小企業が商品化した新商品（防災用以外の飲食物品、農水産物、医薬品、医薬部外品、化粧品、工事における工法、または技術は除く。）または新役務のうち、県が定める基準を満たすものを「やまなしトライアル発注商品等」として、県の機関が試験的に発注しやすくする制度です。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<http://www.pref.yamanashi.jp/shinjigyo/trial/trial-hacchu.html>

○IT 補助金のご案内

IT 導入補助金は昨年の 50 万円から 450 万円に大幅アップしているので注目です。

経済産業省の予算において、「中小企業・小規模事業者等の生産性向上を実現するため、バックオフィス業務の効率化や新たな顧客獲得等の付加価値向上（売上向上）に資する IT ツールの導入支援」を行う旨が明記されています。

この内容から、2019 年度（平成 31 年度）も IT 導入補助金（※）が継続実施されることが予想されます。他の補助金を含めた中小企業生産性革命推進事業の総予算を 1,100 億円確保しており、昨年度程度かそれ以上の補助金額となる見込みです。

この IT の導入支援は、セキュリティにも配慮した IT ツールおよびその提供事業者の成果を公開し、IT 事業者間の競争を促すとともに、横展開を行うプラットフォームの構築等を通じて、中小企業・小規模事業者による IT 投資を加速化させ、我が国全体の生産性向上を実現することを目的としてい

ます。

また、政府の具体的な数値目標として、サービス等生産性向上 IT 導入支援事業により補助事業者の生産性を向上させ、サービス産業の生産性伸び率を 2020 年までに 2.0%を実現することを掲げています。

この書きぶりから推測するに、IT 導入補助金を実施される最後の年となる可能性もあり、これからホームページ制作など、ソフトウェアの導入をされる企業は、この 2019 年、絶対に活用しておきたいところです。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

https://peraichi.com/landing_pages/view/monozukuri



- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

